

令和5年度 学校関係者評価報告書

教学寺幼稚園

1. 本園の教育目標

み仏様のみ教えのもと「心の教育」の追求と育成をその基盤として、文科省が示す幼稚園教育要領に則り個性を尊重してその向上・発展に努め、家庭教育と相俟って純真澁刺たる子どもに育てること。

2. 本年度の重点的に取り組む目標・計画

70年の伝統を大切にするとともに、令和の時代に即した教育を学びなおす。
行事のねらいや取り組み方、日々のより良い保育のあり方を見直す。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価項目	評価	評価の理由や取り組み内容
保育内容の見直し	A	職員全員で、行事のあり方を話し合った。見直すべきところは見直し、柔軟に対応すべく努力した。子ども一人ひとりに寄り添い、臨機応変な保育を展開できるよう、自信を持った保育かつ謙虚な保育を心がける。
教師としての資質向上	B	ほかのクラスの保育を見て学べる時間的・物理的余裕がなかったので、園内研修とともに引き続き取り組む。但し、「資質を向上させたい」という気持ちそのものは向上していると思われる。
危機管理	B	それぞれの避難訓練の意味を子ども達と考えたり、訓練の違う方法を考えることによって、危機感を共有することができた。常にヒヤリハットを意識し、具体的に想像したり考えたりする習慣をつけ、“他人事”にならないよう気を引き締める。

4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

評価 A：達成している B：一部達成している C：一部改善を要する D：改善を要する

評価	理由
B	運動会や発表会の選曲などは全員で話し合い、自園らしさを根底に置きながらも子ども達の発達や個性に合ったものを選んだ。一方、日々の保育は、各クラス担任が切磋琢磨することで自らの資質を上げようと努めていた。昨年度の研究発表以降、話し合う態勢が整い始めているので、このまま継続していきたい。

5. 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
教師としての資質向上	園内研修の充実。研究テーマを輪番制にすることにより、いろいろな視点に気づきを得る。
危機管理	避難訓練の年間計画を立て、あらゆる場面に危機感を持つ。
環境構成	限られた空間の中で、最も有効な環境整備の仕方を考える。

6. 学校関係者評価委員会の評価

70年の伝統を大切にしている中で、新しいものを取り入れたり、見直すべきところは見直し、状況にあった保育・教育をしてきていたと思います。

問題が起きた際は、素早く丁寧に対応していただき、安心してお任せすることができました。

学校関係者評価委員 印
学校関係者評価委員 印
学校関係者評価委員 印
委員会実施日 令和6年 3月 1日